京都教区時報

Home Page http：//www.kyoto.catholic.jp　4345

京都教区広報委員会
（編集長　村上透磨）
京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075－211－3025
FAX 075－211－3041
honbu@kyoto.catholic.jp

３頁　－シリーズ召命－　どうして神父さまに!!　瀧野正三郎神父
６頁～７頁　2018年 京都教区・奈良ブロック　聖書講座　案内

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 079－431-8601

2018年　司教年頭書簡　「エコロジカルな回心」

回勅『ラウダート・シ』の呼びかけ

自然を愛で美しむ

自然環境に対して、温かく、優しい思いやりをもって、謙虚に接することが出来れば良いと思います。それは自然を「大切に思い接する」（対話する）という意味でもあります。

先月、聖フランシスコを観想の人、祈りの人、特に詩人としての姿を「自然」を讃え歌う詩人として、紹介しました。それは聖人が「自然を愛で慈しむ（美しむ、大切に思う）心の詩人」という意味でもあります。

今回は、教皇が詩われる「三つの祈り」とフランシスコの「太陽の讃歌」を黙想してみようかな、と思いました。

しかし、この教区時報が、お手もとに届くころは、復活祭を迎えることになりますので、今号では「復活とエコロジーの霊性」について共に黙想してみては如何でしょう。

復活とエコロジーの霊性

「復活秘儀」はキリスト教信仰の本質であり、根源であり、頂点であり、信仰の統合（インテグラル）をなすものであることに気付きます。

そこで復活を、先ず「新しい創造」「新しい過越し」と捉えます。更に新しい恵みの年（安息年）の開始であり、「創造の過越しの祝い」でもあります。更に完成としての終末的主の日（安息）の祝いでもあります。これらの秘儀は、教会における「秘跡的出会い」を通して実現されます。その「要」は聖体祭儀にあります（教皇が、この

3
2018

エコロジカルな霊性の頂点に置かれる理由もそこにあります）。

このようにして、エコロジカルな回心と霊性は、聖体祭儀において統合され「インテグラルなものになります」と教皇は語ります。

一見社会問題に過ぎないと思われる環境（自然）エコロジーの霊性は、キリスト者の信仰自体が問われ、信仰の刷新（回心）に外ならないと知るでしょう。

この霊的刷新に、子供たちも加わってくれますように。

子供たちは元気よく歌います。

「神様の愛はしみとおる、私たちの心に陽の光のように」

「私たちは魚のよう、神様の愛の中で泳ぐ」

「山も丘も一緒に、讃美の歌を歌おう」

そして大人たちは、少し真剣に

「荒れ地の渇きはてた土のように、神よ私はあなたをしたう」と訴え

「主よ深き淵からあなたに叫ぶ、私の声を聞いて下さい」と叫びます。

更に、大人も子供も一緒に

「新しい歌を、主に歌え、新しい歌を、主に歌え」

と歌う時、神様はきっと答えて下さるでしょう。

「貧しい人を思いやる人は幸せ」

「あなたの最も小さな人にしたことは、私にしたことだ、私の喜びに入りなさい」

と申されながら……。

最後に、この人を「美しむ（慈しむ）」心とその歌（いのり）は、隣人（特に貧しい人に）対するだけでなく、この私たちの母であり、家であり、兄弟姉妹である、この自然の生きとし生ける者すべてに及びますように。

（村上 透磨）

小学生の信仰教育についてのアンケート2

☆少子化

地域差もありますが、少子化のため子どもの人数は減少傾向にあります。

少数であっても、少数だからこそ、教会に来る子どもたちを大切にする雰囲気づくりが、求められます。

☆対象者はいるが参加しない

参加しない理由は、その子どもたち本人や家庭にもあるでしょう。何かの理由で教会学校に参加できない子どもたちのために、教会共同体はどんなサポートができるのでしょうか…

教会共同体は、おとなだけではなく、子どもたちにとっても「イエスと出会い交わる場」です。「子どもたちにとっても、魅力ある信仰共同体づくり」を目指し、努力しなければならないと思います。

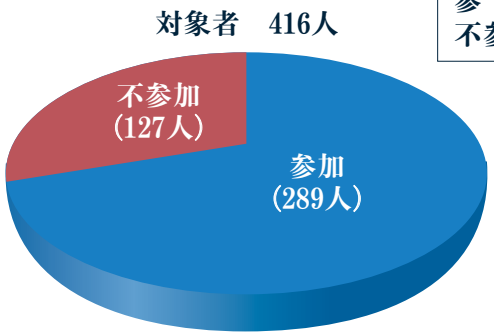
☆外国出身の保護者を持つ子どもたちが多数参加していること

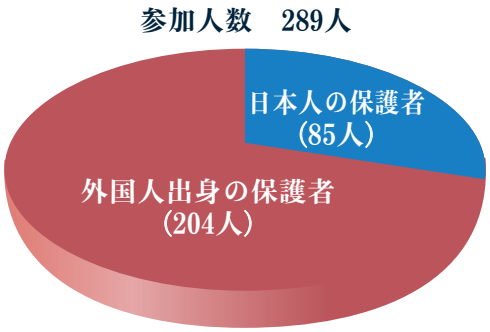
このことは「京都教区の福音宣教優先課題２．滞日外国人の人々と連帯し、多国籍の教会共同体を作ります」にあるように、これからの教会共同体づくりを考えるうえで、大切な課題です。

京都教区信仰教育委員会

教会学校の対象者と参加人数（京都教区）

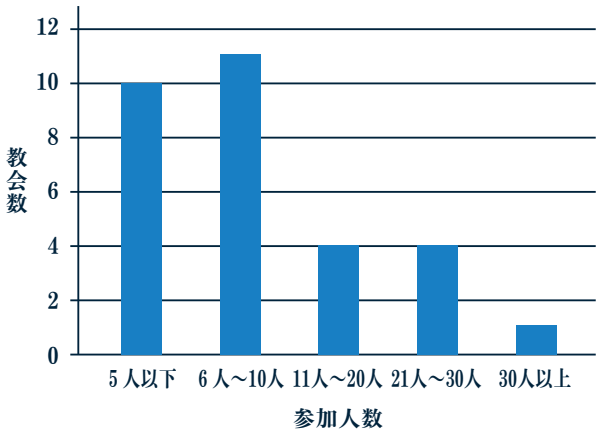
対象者：416人
参　加：289人
不参加：127人





参加人数	：289人
日本人の保護者を持つ子供	：85人
外国人出身の保護者を持つ子供	：204人

教会学校が行われている　30教会
（教区時報２月号より）



教会学校が行われている		(30教会)
参加者人数	5人以下	(10教会)
	6人～10人	(11教会)
	11人～20人	(4教会)
	21人～30人	(4教会)
	31人以上	(1教会)

シリーズ ―召命―

どうして神父さまに !!

瀧野正三郎 神父

今回は京都教区司祭瀧野正三郎神父にお話を伺いました。

（２００９年６月～２０１０年６月に、掲載したシリーズの続編です）

○は編集子
●は瀧野神父

○　カトリックとの出会いを聞かせてください。

●　私の母は、平安女学院の時代に、聖公会の洗礼を受けました。小さい頃、私は、家の近くにある烏丸三条の日本基督教団の教会の礼拝と日曜学校に通っていました。一番上の兄が洛星に入って、中学一年の時に病気になったのをきっかけに、兄がカトリックの洗礼を受けました。それで、母もカトリックに改宗しました。私も、兄と同じ洛星に入り、信者の担任にさそわれて、河原町教会の主日のミサに毎週参加していました。三年間通った後、卒業後の春休みに、復活祭に洗礼を受けるために、中高生の何人かで、小野神父から集中講義を受けました。

○　神父様になろうと思われたお話を聞かせてください。

●　高校二年の終わりの進路を決める時に、自分は団塊の世代で、ゆりかごから墓場まで競争して生きて行くのはいやだと思い、身近にいる、教会で働く司祭を見て、こういう生き方もいいのではないかと思い、母に伝えました。母は古屋司教から洗礼を受けていたので、さっそく、司教に会いにいきました。そうしたら、答えは、「大学に行ってからでもいいのではないか」と言われ、とりあえず、大学入試を目指すことになりました。ところが、高校三年生の六月に、二歳の時に手術した腸閉塞の影響で、腸が捻じれたままで、再び腸閉塞で手術するために入院しました。その時に、母から、「二歳の時に、この子が神様に必要とされるのなら、お助け下さい」と祈ったと聞かされました。まわりのみんなが、受験勉強に熱中している時に、しばらくの間、入院していたこともあり、じっくりと考えた結果、やっぱり、高校を卒業したら神学校に行こうと決心しました。

○　神学生になられてからのお話を聞かせてください。

●　神学校に入学したのは一九六五年で、まだ、第二バチカン公会議の成果が神学校では実施されていなかったので、トレント公会議後のままの養成を受けました。ところが、哲学科三年の時、上智大学の学園紛争が起こり、神学校の生活も急激に変化していきました。哲学の勉強後、私たちの時代には、中間期の制度があり、一年間、ガラス工場で、働きました。その時に実感したのは、四年間学んだことは、普通に生活している人には通用しないということでした。後半の四年間は、イエズス会の神父の指導から、教区司祭の指導に代わり、決められたことを守っていればよかった生活から、自立した生活を求められるようになりました。つまり、監督制神学校から、責任制神学校に変ったのです。そのおかげで、受け身の姿勢ではなく、自ら切り開く姿勢を、身につけることができました。

○　司祭になってからどうでしたか。

●　司祭になって一年目の時、西野神父が教会の近くの民家を借りて、働く人の家として、ＪＯＣ（カトリック青年労働者連盟）の活動をされていました。近いこともあり、青年の集まりにも参加しました。教会では、歳が若くても、司祭の立場で出会うことをしいられましたが、ＪＯＣでは、一人の人間として対等に付き合えることが、とても新鮮でした。そのこともあり、司祭生活の大部分を、働く若者との活動に力をいれてきました。今は小教区で働く司祭が少ないこともあり、ＪＯＣでは、全国会計の協力者として活動しています。

集まれ、青年たち！

京都教区の全ての青年のみなさんこんにちは！同じ信仰をもった同世代の仲間と集まり、祈り、分かち合い、楽しいことをしませんか！？

わたしたちは京都教区の青少年委員会に所属している「京都カトリック青年センター」です。もちろん普段はそれぞれの小教区にいる青年達なのですが、同世代で定期的に集まり、聖書の分かち合いをしたり、勉強会をしたりしています。もちろん楽しいこともね！

今年は、さらにたくさんの青年達とのつながりを願い、様々な企画を準備しています。

対象／高校生から35歳前後の青年・修道者の方々（年齢制限なし）

３月【四旬節に映画『復活』を観て分かち合いをしよう】

３月17日（土）『復活』という映画を観て分かち合いをしたいと考えています。場所：青年センター／時間：14時（18時～晩御飯をみんなで）

４月【新青年歓迎会】

４月21日（土）教区の「一粒会の日」のミサに与り、パーティに参加。その後少し交流会ができればと思っています。

この日は、望洋庵（望洋庵についてはＨＰなどをご覧ください）の新青年歓迎会と合同です。場所：カトリック河原町教会／時間：未定（後日青年センターのＨＰにＵＰ）

５月【府立植物園で、聖書に出てくる植物を探してみない？】

５月19日（土）植物園で聖書に出てくる植物探しの企画を準備中。場所：京都府立植物園／時間：未定

このほかにも色々な企画を考えています。ぜひ青年センターのＨＰをご確認ください！

聖歌「With Christ」のなかに「来てみなさい、わたしが生きるところに、来て集まればわたしもそこにいる」という歌詞があります。とにかく行ってみなきゃわからない！　神様に全てお委ねして、青年センターが催している集まりに来てみませんか？

〔青年センターHP〕　携帯からでもご覧いただけます。　http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/

青年センターあんてな

2018年度 京都司教区聖書講座

回　心

―観想・祈り・詩う―

期　間：2018年５月～12月　（全13回、８月休講）
日　時：（水）19：00～20：20　（木）10：30～11：50
会　場：カトリック河原町教会地下 ヴィリオンホール

	水・夜	木・昼	講師
1	５／16	５／17	大塚喜直（京都教区司教）
2	５／23	５／24	村上透磨（京都教区）
3	６／６	６／７	澤田豊成（パウロ会）
4	６／20	６／21	菅原友明（京都教区）
5	７／４	７／５	一場　修（マリスト会）
6	７／18	７／19	柳田敏洋（イエズス会）
7	９／12	９／13	阿部仲麻呂（サレジオ会）
8	９／26	９／27	奥村　豊（京都教区）
9	10／10	10／11	北村善朗（京都教区）
10	10／24	10／25	西　経一（神言会）
11	11／７	11／８	白浜　満（広島教区司教）
12	11／21	11／22	鈴木信一（パウロ会）
13		12／６	感謝と派遣のミサ

会　費：4,000円　郵便振込みにて５月１日（火）までに下記宛
振込口座 00910-9-148401　カトリック京都司教区聖書委員会
問合せ：TEL. 075-211-3484（水、木の10時～16時）
FAX. 075-211-3910　e-mail：seisho@kyoto.catholic.jp
主　催：カトリック京都司教区聖書委員会

2018年　奈良ブロック聖書講座　「みことばを生きるために」　シリーズ 16

テーマ　「神の愛のまなざしを思う」
── イエスの「たとえ話」の中に福音的まなざしを問う ──

講　座　の　内　容

回	金曜夜コース	土曜昼コース	各講座のテーマ	講　　師
1	４月20日 八木教会	４月21日 奈良教会	**種を蒔く人** マタイ　13：１～23、マルコ　４：１～９ ルカ　８：４～15	鈴木 信一 神父 パウロ会
2	５月11日 郡山教会	５月12日 奈良教会	**ぶどう園の労働者** マタイ　20：１～16	柳田 敏洋 神父 イエズス会
3	５月25日 八木教会	５月26日 奈良教会	**婚宴のたとえ** マタイ　22：１～14、ルカ　14：15～24	柳本 昭 神父 京都教区
4	６月８日 郡山教会	６月９日 奈良教会	**不正な管理人** ルカ　16：１～18	山下 敦 神父 大分教区
5	６月22日 八木教会	６月23日 奈良教会	**金持ちとラザロ** ルカ　16：19～31	一場 修 神父 マリスト会
6	７月13日 郡山教会	７月14日 奈良教会	**憐みのたとえ** ルカ　15：１～７・見失った羊、15：８～10・失くした銀貨 15：11～31・亡くした息子	カブンディ・オノレ 神父 淳心会
7	７月27日 八木教会	７月28日 奈良教会	**キリストは良き牧者　私たちはその牧場の羊** ヨハネ　10：１～６、７～21	大塚 喜直 司教 京都教区

時　　間：金曜夜コース 午後 7:00～ 8:30　土曜昼コース 午前 10:00～11:30
昼夜コースの内容は同じです。ご都合の良い方をお選び下さい。
持参するもの 「旧約・新約聖書」

参 加 費：3,000円（全７回）　事前に郵便振込みにてお支払い下さい。
郵便振込口座＝ 00990-0-115473 「カトリック奈良地区協議会」
学生及び信者でない方は無料です !!
申込方法：郵便振込をもって申込み受付といたします。
振込用紙通信欄には、お名前、所属教会、電話番号と参加コース名を必ずご記入下さい。
申込締切：４月６日（金）

主　催：カトリック奈良ブロック協議会 ／ 協賛：京都司教区聖書委員会

お問い合わせは、善きサマリア人修道院 服部悦子へ
電話 0742-22-0017 （19時から21時までに）

大塚司教の
３月のスケジュール
Schedule of Bishop Otsuka

1日㊍ 10:00 四日市メリノール学院 高等学校 卒業式
2日㊎ 14:00 日本カトリック神学院 東京キャンパス 教員会議
3日㊏-5日㊊ 福岡教区・手取教会 四旬節黙想会
6日㊋ 10:00 長岡幼稚園感謝の祈り（河原町教会）
8日㊍ 10:00 中央協 常任司教委員会
9日㊎ 11:00 中央協 列聖推進委員会
10日㊏ 10:00 京都ノートルダム女子大学 卒業式
11日㊐ 10:30 唐崎教会ミサ
14:00 安曇川教会ミサ
12日㊊ 14:00 司教顧問会
13日㊋ 14:00 カトリック大阪教会管区 部落差別人権活動センター教区担当者会議
14日㊌ 9:30 京都聖母学院小学校 卒業式
15日㊍ 10:00 ノートルダム学院小学校 卒業式
17:00 四日市サレジオ志願院 ミサ
16日㊎ 15:00 聖愛幼稚園 園舎竣工・祝福式
17日㊏ 10:00 京都聖母女学院短期大学 卒業式
18日㊐ 11:00 丹波教会・亀岡聖堂ミサ
19日㊊ 9:00 セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 ミサ
20日㊋ 14:00（社福）カトリック京都司教区 カリタス会 理事会
22日㊍ 14:00（学法）滋賀カトリック学園 理事会（大津）
23日㊎ 13:00 四日市メリノール学院 理事会
24日㊏ 14:00（学法）カトリック京都学園・京都南カトリック学園 理事会
25日㊐ 10:30 大和高田教会ミサ
26日㊊ 17:00 侍者合宿
27日㊋ 15:00 教区保育者研修会 ミサ
28日㊌ 11:00 聖香油ミサ（河原町教会）
29日㊍ 19:00 主の晩餐（河原町教会）
30日㊎ 19:00 主の受難（河原町教会）
31日㊏ 19:00 復活徹夜祭（河原町教会）

３月のお知らせ

教　区

青少年委員会
京都カトリック青年センター
四旬節企画：17日㊏ 14:00
復活に関する映像鑑賞・分かち合い
聖書の集い：24日㊏ 18:00
（どなたでも参加ください）

修　道　会

男子カルメル修道会（宇治修道院）
Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457
水曜黙想（Sr. ロサ）
日　時：14日㊌ 10:00～16:00
テーマ：自分の十字架を背負って
参加費：3,000円
キリスト教霊的同伴（九里 彰師）
日　時：16日㊎ 17:00～17日㊏ 16:00
参加費：7,000円

諸　団　体

京都カトリック混声合唱団
練　習：11日㊐ 14:00／24日㊏ 18:00 ミサ奉仕後 カトリック会館６階
コーロ・チェレステ（女声コーラス）
練　習：15日㊍ 10:00／21日㊌ 10:00
29日㊍ 10:00 カトリック会館６階
聴覚障がい者の会（どなたでも参加可）
手話表現学習会（聖書と典礼）
日　時：８日㊍ 13:00 カトリック会館７階
心のともしび　番組案内
テレビ（衛星スカパー.ケーブル）スカイＡ
毎週土曜日 朝７:45
シリーズ「喜びと平和のうちに」
出演は松村 信也師（イエズス会）
ラジオ（KBS京都）㊊～㊎ 朝５:55
㊏ 朝５:15

※ ５月号の原稿締切り日は３月28日㊌です。